



2021年9月号

令和3年9月1日

横浜市立大口台小学校

神奈川県大宮区大宮460

学校からのお知らせを学校HPで日々発信しています(担当:副校長)

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/oguchida>

夏休みを終えて...

校長 平原 智美

今年度もコロナ禍で、2度目の夏を迎えました。昨年とは違い、夏休みは37日間という長い夏休みとなりましたが、みなさんはいかがお過ごしでしたか。東京オリンピックやパラリンピックが開幕されたので、自宅のテレビで競技などを見て過ごされた人も多かったのではないのでしょうか。また、おうちの仕事を手伝っているいろいろなことを覚えたり、学んだりできた人もいたことでしょう。まだ、夏休み気分で生活のリズムがもどっていない人は、少しずつ元の生活に戻せるよう早寝早起きを心がけましょう。

夏休み期間中、横浜市では新型コロナウイルスの感染急増の現状があり、新型コロナウイルスを広げないために8月31日(火)まで横浜市立学校はすべて臨時休業となりました。また、本日から9月13日(月)までは緊急事態宣言と重点措置の期限が延長されたことに伴い、大口台小学校では当面の間、分散登校で短縮授業にして段階的に教育活動を行う予定です。そして、9月10日の学級懇談会は中止にしました。9月29日の4年生愛川特別遠足は延期する予定です。詳しい内容は決まり次第お知らせします。

引き続き文部科学省の新型コロナウイルス感染予防の取組や横浜市教育委員会の学校ガイドラインに照らし合わせながら、通常にもどるまで感染拡大予防の取組の徹底を実施していきます。残暑も厳しいので暑さが治まるまでは熱中症対策もしっかり行い、こまめな水分補給、マスクを外しての体育の運動など、教育活動が安全に行えるように職員一同で配慮しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地域の方々のご支援に心から感謝申し上げます

大口台小学校が50周年記念の時に、校庭の北側に記念樹として地域の方からフジの木を寄贈していただきました。そのフジの木は12年ぐらい前から花が咲かない状態になっているということなので、この夏、そのフジの木の剪定をしていただきました。このことで中心に動いてくださっているのはその当時の元PTA役員で、現在学校地域支援本部の皆様です。日頃より学校のことを気にかけてくださっています。

その他にもお店体験等でご協力して下さる商店街の皆様、毎日子どもたちの通学路を見守って下さる「見守り隊」の方々、子どもたちの登下校が安心・安全な状態になるようにスクールゾーン協議会に参加して下さるの方々、道路の歩道の白線やスクールゾーンの表示を塗り直して下さる横浜市の土木事務所の方々や区役所の方々、交通事故が起こらないようにパトロールをして下さる警察の方々、このように大口台小学校の子どもたちは日々たくさんの地域の方々に温かく見守られています。学校を代表しまして、心から感謝申し上げます。今後も温かいご支援をよろしくお願いいたします。

9月1日は防災の日



1923年(大正12年)9月1日11時58分に発生した関東大地震はマグニチュード7.9と推定されています。この巨大地震で南関東から東海地域に甚大な被害が発生し、死者・行方不明者が14万人以上で被災者は340万人を超える大災害となりました。この関東大地震を忘れないために毎年9月1日を「防災の日」と定め、各所で防災訓練が行われるようになりました。本校では本日、防災訓

練を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から延期となりました。いつ大きな地震が起きるかはわかりませんが、いざというときに備えが必要ですね。